

ワンポイントサービス情報

松下電器産業株式会社
ビデオシステム事業部

件 名 A J - D 7 5 0 / D 6 5 0 / D 6 4 0 と編集コントローラの設定

機種名 A J - D 7 5 0 / D 6 5 0 / D 6 4 0

A J - D 7 5 0 / 6 5 0 / D 6 4 0 と編集コントローラを接続する場合、V T R 側とコントローラ側の設定を各々実施してください。

尚、設定表はインターネットのV S D ホームページのワンポイントサービス情報に掲載しています。

V S D ホームページのアドレス <http://www.panasonic.co.jp/vsd/japan.html>

対象コントローラ : B V E - 6 0 0
B V E - 9 0 0
B V E - 9 0 0 K
B V E - 9 1 0
B V E - 9 0 0 0
F X E - 1 0 0
B V E - 2 0 0 0
B V E - 8 0 0
A U - A 9 5 0
A U - A 9 6 0
A G - A 7 7 0
A G - A 8 0 0
A G - A 3 5 0
A C E - 2 5
P V E - 5 0 0
R M - 4 5 0

- 注意) ・ A G - A 8 5 0 との接続時の設定は、コントローラは初期設定状態で、V T R 側は「I D S E L」をD V C P R O に設定します。
- ・ 設定表はA J - D 7 5 0 を代表機種として掲載しています。A J - D 6 5 0 / D 6 4 0 はA J - D 7 5 0 の設定を参照してください。
 - ・ A J - D 6 4 0 には編集機能は御座いませのでD 6 4 0 は再生機としてご使用ください。
 - ・ 設定表中のA J - D 7 5 0 P は北米モデル(N T S C)、E はP A L モデルです。

以 上

AJ-D750 接続時の各コントローラの設定

- VTR 側のセットアップメニュー設定値は注釈のない限り出荷値設定とする。
I/F Ver n1.01 以降は 202:ID SEL を OTHER (0000) に設定する。
- コントローラ設定の PREROLL TIME は「5 SEC」に設定する。

BVE-600 の設定

1. VTR デバイス定数を RECORDER、PLAYER とともに以下の設定にする。

	BLOCK-1								BLOCK-2						
	BYTE								BYTE						
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
AJ-D750,P	20	25	00	5A	08	08	03	8A	0C	07	FB	00	81	3D	FF
AJ-D750E	21	25	00	4B	08	08	03	8A	0C	07	FB	00	83	3B	FF

(表中の網掛け部は BVW-75 設定からの変更項目)

BLOCK-1 BYTE-5 (Edit Delay) : 08 = -67レーム

BYTE-6 (EE Delay) : 08 = -67レーム

BYTE-8 (Trajectory) : 上位バイト“8” = CUE UP WITH DATA による CUE UP

BVE-900 (Ver1.04) の設定

1. VTR デバイス定数を RECORDER、PLAYER とともに以下の設定にする。

	CONSTANT 1								CONSTANT 2						
	DATA								DATA						
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
AJ-D750,P	20	25	00	96	08	08	0A	0F	0C	07	FB	00	81	3D	20
AJ-D750E	21	25	00	7D	08	08	0A	0F	0C	07	FB	00	83	3B	20

(表中の網掛け部は BVW-75 設定からの変更項目)

CONSTANT-1 DATA-5 (Edit Delay) : 08 = -67レーム

DATA-6 (EE Delay) : 08 = -67レーム

DATA-7 (Overrun) : PREROLL 停止時に、テープが指定の PREROLL 点を過ぎて余分に走る時間の補正

DATA-8 (Trajectory) : PREROLL 時の最適な弾道カーブを規定

CONSTANT-2 DATA-7 (PREROLL Speed) : 20 = SHUTTLE × 32

- * BVE-900 Ver1.12, Ver1.10, Ver1.09, Ver1.06 は BVE-900K と同じ設定にする。(CUE UP WITH DATA による CUE UP が可能)
- * CONSTANT-1 DATA-7, 8 及び CONSTANT-2 DATA-7 を上記設定にすると、CUE UP 動作はスムーズになるが遅くなる。

BVE-900K, BVE-910 の設定

1. VTR デバイス定数を RECORDER、PLAYER とともに以下の設定にする。

	CONSTANT 1								CONSTANT 2						
	DATA								DATA						
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
AJ-D750,P	20	25	00	96	08	08	03	8A	0C	07	FB	00	81	3D	FF
AJ-D750E	21	25	00	7D	08	08	03	8A	0C	07	FB	00	83	3B	FF

(表中の網掛け部は BVW-75 設定からの変更項目)

CONSTANT-1 DATA-5 (Edit Delay) : 08 = -67レーム

DATA-6 (EE Delay) : 08 = -67レーム

DATA-8 (Trajectory) : 上位8ビット“8” = CUE UP WITH DATA による CUE UP

BVE-9000 の設定

1. VTR デバイス定数を RECORDER、PLAYER とともに以下の設定にする。

	CONSTANT 1								CONSTANT 2							
	DATA								DATA							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
AJ-D750,P	20	25	00	96	08	08	03	8A	0C	07	FB	00	81	3D	FF	5A
AJ-D750E	21	25	00	7D	08	08	03	8A	0C	07	FB	00	83	33	FF	4B

(表中の網掛け部は BVW-75 設定からの変更項目)

CONSTANT-1 DATA-5 (Edit Delay) : 08 = -67レーム

DATA-6 (EE Delay) : 08 = -67レーム

VTRデバイス定数について

BVE-600 / BVE-900 / BVE-900K / BVE-9000 / BVE-2000 / FXE-100

BLOCK	BYTE	項目	内容
1	1	Device Type	VTRのタイプを設定。
	2		
	3	Min Preroll Time	VTRが必要とする最小限のプリアール時間を設定。
	4		
	5	Edit Delay	VTRにRECOMMAND*が送出されてから、実際に記録が始まるまでの遅延時間を補正。(フレーム単位)
	6	EE Delay	VTRにPB/EEコントロールコマンド*が送出されてから、実際にVTRがPREVIEWE-ト*になるまでの遅延時間を補正。(フレーム単位)
	7	Overrun	プリアール停止時、テープがプリアール点を過ぎて余分に走る時間を補正。(フレーム単位)
	8	Trajectory Const	プリアール時の最適な弾道カーブを規定。(収束の悪いVTRほど大きな値をとる。) 上位バイト“8” = CUE UP WITH DATAによるCUE UP ¹
2	1	TC Read Delay	テープが走り出してから、実際にタイムコードの読み取りが始まるまでの遅延時間を補正。(フレーム単位)
	2	Start Delay	VTRに走行コマンド*が送出されてから、実際にVTRが立ち上がるまでの遅延時間を補正。(フレーム単位)
	3	After-Sync Delay -	調相が完了してPLAY走行に移行するとき、低速方向から正しい位置にサーボロックするのに最適なコマンド遅延時間を設定。(フレーム単位)
	4	After-Sync Delay +	調相が完了してPLAY走行に移行するとき、高速方向から正しい位置にサーボロックするのに最適なコマンド遅延時間を設定。(フレーム単位)
	5	Max Framing CTL Interpolation	BIT1~7 : VTRが方式的に意味を持つ最大のフレームングを設定。 0 = 2F LOCK 1 = 4F LOCK 2 = 8F LOCK システム設定パルのSYNCHRONIZEスイッチの設定に関わらず、ここで指定したフレームング以下で該当するVTRをコントロールする。 BIT8 : 1 = タイムコードのCTL補間が可能 0 = 不可能
	6	CF Status Enable Max Frame Lock Time	BIT1 : 1 = VTRからのCFステータス有効 0 = 無効 BIT2~8 : VTRがフレームロックするまでの最大時間を設定。 (フレーム単位)
	7	Preroll Speed	プリアール(CUE UP)を行うときの、SHUTTLEの最高速度を倍速で設定。 FF = FF/REWIND*でコントロール

¹ BVE-900(Ver1.04)では、CUE UP WITH DATAによるCUE UPはできない。

BVE-800 の設定

1. RECORDER の 9PIN INTERFACE BOARD 上の SW1、SW2、SW3 を以下の設定にする。

	SW1		SW2								SW3							
	P/R 設定		編集タイミング*								PLAYタイミング*							
	RECORDER		-6フレーム								-5フレーム							
	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
AJ-D750,P	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON			ON		OFF	ON	OFF	ON		ON		

(表中の空白は変更しない)

2. PLAYER の 9PIN INTERFACE BOARD 上の SW1、SW2、SW3 を以下の設定にする。

	SW1		SW2								SW3							
	P/R 設定		編集タイミング*								PLAYタイミング*							
	PLAYER		-6フレーム								-10フレーム							
	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
AJ-D750,P	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON			ON		ON	OFF	ON	OFF		ON		

(表中の空白は変更しない)

SW2-7 (タイムコード不連続処理) : ON = CTL 補正をしない

SW3-6 (調相精度) : ON = ±0フレーム

- * スムーズに CUE UP させる場合は AJ-D750 のセットアップメニュー項目 102 FF.REW MAX を「×32」または「×60」に設定する。
- * I/F Ver n1.02 以降は、313:AFTER CUE-UP を STOP (0000) に設定する²。

² BVE-800 では、CUE-UP 完了時 STOP にならないと、編集動作に入らない。

9P INTERFACE BOARD (BK-809) のスイッチ設定について

SW1 : PLAYER1/2/RECORDER 設定スイッチ

VTR の使用目的	SW1	
	1	2
RECORDER	ON	
PLAYER1		ON
PLAYER2		

(表中の空白は OFF)

SW2-1 ~ 4 : 編集コマンド タイミング スwitch

		編集コマンド の出力タイミング (フレーム)															
		-1*	-2	-3	-4	-5	-6	-7	-8	-9	-10	-11	-12	-13	-14	-15	-16
SW2	1	ON		ON		ON		ON		ON		ON		ON		ON	
	2	ON	ON			ON	ON			ON	ON			ON	ON		
	3	ON	ON	ON	ON					ON	ON	ON	ON				
	4	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON							

*工場出荷値

(表中の空白は OFF)

SW2-6 : CUE UP の選択 (本体 MP-17 基板の P-ROM (IC96 ~ 102) が Version-3 以降の場合)

ON = SEARCH-トによる CUE UP

OFF = FF/REW (1sec 以上) + SEARCH (1sec 以内) による CUE UP

SW2-7 : タイムコート 不連続処理 (本体 MP-17 基板の P-ROM (IC96 ~ 102) が Version-2 以降の場合)

ON = 不連続処理をしない。

OFF = 不連続処理を行う。(IN 点からの PREROLL、および、調相に CTL を用いる。)

SW2-8 : 9P INTERFACE BOARD (BK-807) では未使用

SW3-1 ~ 4 : PLAYコマンド タイミング スwitch

		PLAYコマンド の出力タイミング (フレーム)															
		0	-1	-2	-3	-4	-5	-6	-7*	-8	-9	-10	-11	-12	-13	-14	-15
SW3	1	ON		ON		ON		ON		ON		ON		ON		ON	
	2	ON	ON			ON	ON			ON	ON			ON	ON		
	3	ON	ON	ON	ON					ON	ON	ON	ON				
	4	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON							

*工場出荷値

(表中の空白は OFF)

PLAYコマンド 出力タイミング の設定方法

- ビデオ信号が連続して記録されているテープ (1分程度) を各 VTR に入れる。
- EDIT NUMBER を 900 にセット。(“EDIT#”キーを押しながら“9”, “0”, “0”と押す。)
- “PREVIEW”キーを押す。PREVIEWモードで走行し、自動的に停止し、PREVIEWランプが消灯

すると、同時にタイムカウンタに数値が出る。³

4. この数値を、前表のフレーム数として、SW3-1～4を設定する。

SW3-6 : 調相精度

ON = ± 0 フレーム

OFF = ± 1 フレーム

SW3-7 : 9P INTERFACE BOARD (BK-807) では未使用

SW3-8 : カラーフレームング スイッチ

ON = SYNCHRONIZEスイッチOFF の位置においても、CF 編集を行う。

OFF = SYNCHRONIZEスイッチOFF の位置においては、CF 編集を行わない。

³ AJ-D750 を RECORDER にする場合、EDIT PRESET を選択した状態で行う。

AU-A950 (Ver2.0-2053 以前, NTSC) の設定

1. VTR デバイス定数を RECORDER、PLAYER とともに以下の設定にする。

	CONSTANT 1								CONSTANT 2						
	DATA								DATA						
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
AJ-D750,P	20	25	FF	FF	06	06	01	00	03	06	9F	03	83	00	FF

(表中の網掛け部は BVW-75 設定からの変更項目)

CONSTANT-1 DATA-5 (Edit Delay) : 06 = -67レーム

DATA-6 (EE Delay) : 06 = -67レーム

CONSTANT-2 DATA-3 (After Sync Delay) : 9F = 07レーム

- * スムーズに CUE UP させる場合は AJ-D750 のセットアップメニュー項目 102 FF.REW MAX を「×32」に設定する。

AU-A950 (Ver2.0-2054 以降, NTSC) の設定

1. VTR デバイス定数を RECORDER、PLAYER とともに以下の設定にする。

	CONSTANT 1								CONSTANT 2						
	DATA								DATA						
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
AJ-D750,P	20	25	FF	FF	06	06	01	00	03	06	FF	03	83	02	FF

(表中の網掛け部は BVW-75 設定からの変更項目)

CONSTANT-1 DATA-5 (Edit Delay) : 06 = -67レーム

DATA-6 (EE Delay) : 06 = -67レーム

CONSTANT-2 DATA-6 (MODE2) : 00 = SERVO LOCK 後調相

02 = PLAY 出力後調相

- * スムーズに CUE UP させる場合は AJ-D750 のセットアップメニュー項目 102 FF.REW MAX を「×32」に設定する。

AU-A950 (Ver2.0-2056, PAL) の設定

1. VTR デバイス定数を RECORDER、PLAYER とともに以下の設定にする。

	CONSTANT 1								CONSTANT 2						
	DATA								DATA						
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
AJ-D750E	21	25	FF	FF	06	06	01	00	0C	07	FF	00	83	00	FF

(表中の網掛け部は BVW-75 設定からの変更項目)

CONSTANT-1 DATA-5 (Edit Delay) : 06 = -67 μ m

DATA-6 (EE Delay) : 06 = -67 μ m

CONSTANT-2 DATA-6 (MODE2) : 00 = SERVO LOCK 後調相

02 = PLAY 出力後調相

- * スムーズに CUE UP させる場合は AJ-D750 のセットアップメニュー項目 102 FF.REW MAX を「×32」に設定する。

- VTR 側の SETUP-MENU による方法 (コントローラ側の設定は上記のまま変更しない)
ただし, この方法では CUE のみの選択は不可 .

1. RECORDER となる VTR の SETUP-MENU 307:EDIT RPLCEC を以下の設定にする .

- CH1 : CH1 選択時に同時に CUE も選択する .
- CH2 : CH2 選択時に同時に CUE も選択する .
- CH1+2 : CH1 または CH2 のどちらかが選択時に同時に CUE も選択する .

- コントローラ側の設定を変更する方法

1. RECORDER となる VTR の SETUP-MENU 204:ID SEL を DVCPRO (0001) に設定する .
2. コントローラの RECORDER VTR デバイス定数を以下の設定にする .

AU-A950 (Ver2.0-2053 以前, NTSC) の場合

	CONSTANT 1								CONSTANT 2						
	DATA								DATA						
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
AJ-D750,P	F0	33	FF	FF	06	06	01	00	03	06	9F	03	83	00	FF

AU-A950 (Ver2.0-2054 以降, NTSC) の場合

	CONSTANT 1								CONSTANT 2						
	DATA								DATA						
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
AJ-D750,P	F0	33	FF	FF	06	06	01	00	03	06	FF	03	83	02	FF

AU-A950 (Ver2.0-2056, PAL) の場合

	CONSTANT 1								CONSTANT 2						
	DATA								DATA						
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
AJ-D750E	F1	33	FF	FF	06	06	01	00	0C	07	FF	00	83	00	FF

3. コントローラの AUDIO CHANNEL ASSIGN を以下の設定にする .

- ANALOG A1 (CUE) = CUE KEY⁴ DIGITAL A1 = A1 KEY
- ANALOG A2 (CUE) = CUE KEY⁴ DIGITAL A2 = A2 KEY
- ANALOG A3 (TC) = TC KEY DIGITAL A3 = A3 KEY
- ANALOG A4 = A4 KEY DIGITAL A4 = A4 KEY

⁴ ここでは, CUE KEY により CUE の編集モードを選択する設定を示す .

AU-A950 (Ver2.0-2077 以降, NTSC/PAL) , AU-A960 (Ver2.1-2126 以降, NTSC/PAL) の設定

1. VTR の SETUP-MENU 204:ID SEL を DVCPRO (0001) に設定する .
2. VTR デバイス定数を RECORDER、PLAYER とともに以下の設定にする。

	CONSTANT 1								CONSTANT 2						
	DATA								DATA						
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
AJ-D750,P,E	FF	FF	FF	FF	06	06	01	00	03	06	FF	03	83	02	FF

3. AUDIO CHANNEL ASSIGN を以下の設定にする .

ANALOG A1 (CUE) = CUE KEY ⁵	DIGITAL A1 = A1 KEY
ANALOG A2 (CUE) = CUE KEY ⁵	DIGITAL A2 = A2 KEY
ANALOG A3 (TC) = TC KEY	DIGITAL A3 = A3 KEY
ANALOG A4 = A4 KEY	DIGITAL A4 = A4 KEY

⁵ ここでは , CUE KEY により CUE の編集モードを選択する設定を示す .

AG-A770 の設定

1. パネル側の SW1、SW2 を以下の設定にする。

	SW1								SW2							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
AJ-D750,P								ON				ON				
AJ-D750E								ON				ON				

(表中の空白は OFF)

2. 本体側の SW1(SW501)、SW2(SW502)を以下の設定にする。

	SW1 (SW501)								SW2 (SW502)							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
AJ-D750,P					ON		ON									
AJ-D750E	ON				ON		ON									

(表中の空白は OFF)

SW1-5 ~ SW1-7 : 9P 編集タイミング

SW1-5	ON	}	= -6フレーム
SW1-6	OFF		
SW1-7	ON		

3. RECORDER 側 AJ-D750 の SETUP-MENU 106:PLAY DELAY を “ 5 ” に設定する。⁶
 PLAYER 側 AJ-D750 の SETUP-MENU 106:PLAY DELAY を “ 0 ” に設定する。

AG-A770 (Ver2.2) ディップスイッチに関する説明

パネル側

SW1	1	プザ音の有無	ON	鳴らない
			OFF	鳴る
	2	未使用		
	3	未使用		
	4	調相動作選択スイッチ	ON	CAP OVERRIDE で行う
			OFF	サーチモードで行う
	5	プリロール時間	ON	3 秒
			OFF	5 秒
	6	ポストロール時間	ON	1 秒
			OFF	2 秒
	7	調相の有無	この SW が ON に設定された場合、SW1-8 の設定は無効	
			ON	調相を行わない
			OFF	調相を行う
	8	編集グレード	ON	リトライを 2 回行い、失敗すれば編集中止
			OFF	リトライなし、失敗しても編集実行

⁶ 通常の PLAY の立ち上がりも遅くなります。

SW2	1	未使用		
	2	D3シャトルモード	ON	SHTL x-1 ~ x+2 の範囲は VAR に切り替え
			OFF	切り替えない
	3	編集タイミング オート選択	この設定は SW2-4 が OFF でのみ有効	
			ON	VTR の ID が “ 1000 ” の場合、編集タイミング は本体側 SW501-5, 6, 7 に従う
	4	編集タイミング オート選択	ON	編集タイミング は本体側 SW501-5, 6, 7 に従う
			OFF	編集タイミング は VTR の ID により自動的に設定
	5	TC 読み込みモード	ON	LTC のみ
			OFF	VITC または LTC
	6	DF/NDF 設定	ON	DF
			OFF	NDF
	7	カーフレーム編集の選択	ON	カーフレーム編集を行う (ただし、VTR SETTING)
			OFF	カーフレーム編集を行わない
	8	マルチイベントの ON/OFF	ON	シングルイベント固定
			OFF	EVENTキーにより、シングルイベントからマルチイベントに切り替え可能

本体側

SW1 (SW501)	1	NTSC/PAL 切り替え	ON	PAL								
			OFF	NTSC								
	2	34P IN 点-1フレーム	34Pインターフェイスボードの VIDEO OUT 端子を使用して、映像を確認する場合、映像の実際の TC と表示されている TC の 1フレームのずれを補正する。MARK-IN, OUTキーや GOTOキーを使用する場合に、この設定が有効。									
			ON	補正を行う								
			OFF	補正を行わない								
	3	未使用										
	4	未使用										
	5	編集タイミング	フレーム	-1	-2	-3	-4	-5	-6	-7	-8	
	6		SW1-5	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	
	7		SW1-6	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	
		SW1-7	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON		
8	未使用											
SW2 (SW502)	1	未使用										
	2	未使用										
	3	未使用										
	4	未使用										
	5	未使用										
	6	未使用										
	7	未使用										
	8	未使用										

AG-A800 の設定

1. パネル側の SW1、SW2 を以下の設定にする。

	SW1								SW2							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
AJ-D750,P			ON	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON		ON	ON	OFF	ON	OFF	ON

(表中の空白は変更しない)

2. 本体側の SW1 (SW501)、SW2 (SW502) を以下の設定にする。

	SW1 (SW501)								SW2 (SW502)							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
AJ-D750,P	OFF	ON			ON	OFF	ON									

(表中の空白は変更しない)

3. RECORDER 側 AJ-D750 の SETUP-MENU 106:PLAY DELAY を “ 5 ” に設定する。⁷
 PLAYER 側 AJ-D750 の SETUP-MENU 106:PLAY DELAY を “ 0 ” に設定する。

AG-A800 ディップスイッチに関する説明

パネル側

SW1	1	操作ミス時のブザー	ON*	鳴る
			OFF	鳴らない
2		ダイレクトサーチ	ON*	ダイレクトサーチ可
			OFF	ダイレクトサーチ不可
3		未使用	ON に設定	
4		レコーダの調相	ON*	CAP OVERRIDE で行う
			OFF	サーチモードで行う
5		プレイヤー2の調相	ON*	CAP OVERRIDE で行う
			OFF	サーチモードで行う
6		プレイヤー1の調相	ON*	CAP OVERRIDE で行う
			OFF	サーチモードで行う
7		未使用	OFF に設定	
8		編集グレート	ON*	リトライを2回行い、失敗すれば編集中止
			OFF	リトライなし、失敗すれば編集中止

⁷ 通常のPLAYの立ち上がりも遅くなります。

SW2	1	コントロールパル	ON*	ON			
			OFF	OFF			
	2	GPI3 切替タイミング	ON*	AUDIO 編集点			
			OFF	KEY 出力点			
	3	編集タイミング オート選択	この設定は SW2-4 が OFF でのみ有効				
			ON	VTR の ID が “ 1000 ” の場合、編集タイミング は本体側 SW501-5, 6, 7 に従う			
			OFF*	VTR の ID が “ 1000 ” の場合、編集タイミング は-1フレームに設定			
	4	編集タイミング オート選択	ON	編集タイミング は本体側 SW501-5, 6, 7 に従う			
			OFF*	編集タイミング は VTR の ID により自動的に設定			
	5	未使用	OFF に設定				
6	未使用	ON に設定					
7	ポストロール時間	秒	0.5	1*	2	3	
8		SW2-7	OFF	OFF	ON	ON	
		SW2-8	OFF	ON	OFF	ON	

本体側

SW1 (SW501)	1	未使用	OFF に設定								
	2	エッジの作動	ON*	ON							
			OFF	OFF							
	3	スイッチ選択		-	AG-SW800*	KM3000	GVG100				
			SW1-3	OFF	OFF	ON	ON				
			SW1-4	OFF	ON	OFF	ON				
	5	編集タイミング	フレーム	-1	-2	-3	-4	-5*	-6	-7	-8
			SW1-5	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON
			SW1-6	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON
			SW1-7	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON
8	PC 通信タイムアウト	ON	約 3 秒以内にデータを受信しないと通信を終了する								
		OFF*	タイムアウトしない								
SW2 (SW502)	RS232C 内容										
	1	通信データ長	ON	7ビット							
			OFF*	8ビット							
	2	STOPビット	ON*	2							
			OFF	1							
	3	PARITY	ON	ON							
			OFF*	OFF							
	4	ODD/EVEN	ON	EVEN							
			OFF*	ODD							
	5	ファイルエント処理	ON*	CR, LF, ^Z 出力							
OFF			^Z 出力								
6	BAUD RATE		110	300	600	1200	2400	4800	9600*	19200	
		SW2-6	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	
		SW2-7	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	
8		SW2-8	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	

AG-A350 の設定

1. AG-A350 の DIPSW を以下の設定にする .

	SW1						SW2					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
AJ-D750,P				OFF			OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON
AJ-D750E				OFF			OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF

(表中の空白は変更しない)

2. RECORDER 側 AJ-D750 の SETUP-MENU 106:PLAY DELAY を “ 5 ” に設定する。⁸
 PLAYER 側 AJ-D750 の SETUP-MENU 106:PLAY DELAY を “ 0 ” に設定する。

AG-A350 デイプスイッチに関する説明

		OFF	ON	出荷設定		
S W 1	1	CTL DISPLAY (CTLカウンタ表示)	± 12H	24H	ON	
	2	PLAYER EDIT REFERENCE (PLAYER側のカウンタモード)	TC	CTL	ON	
	3	RECORDER EDIT REFERENCE (RECORDER側のカウンタモード)	TC	CTL	ON	
	4	SYCRO VTR (調相制御)	PLAYER	RECORDER	OFF	
	5	CAP OVERRIDE (調相, カラーフレーミングの選択)	SW1-5 SW1-6 OFF OFF NOT SYNCHRO (調相なし)		ON	
	6		ON OFF FRAMING (フレーミング, 調相あり) OFF ON COLOR FRAMING (カラーフレーミング, 調相あり) ON ON VTR SYNCHRO (VTR側の設定, 調相あり)		OFF	
S W 2	1	PREROLL TIME (PREROLL時間の設定)	SW2-1 SW2-2 OFF OFF 10sec		ON	
	2		ON OFF 7sec OFF ON 5sec ON ON 3sec		OFF	
	3	EDIT TIMING (編集タイミングの設定)	SW2-3 SW2-4 OFF OFF -8 frames		OFF	
	4		ON OFF -7 frames OFF ON -6 frames ON ON -5 frames		OFF	
	5	AUDIO CH2 (編集モード AUDIO2の設定)	AUDIO		TC	OFF
	6	SIGNAL STANDARD (フレーム数)	25F (PAL)		30F (NTSC)	ON

⁸ 通常のPLAYの立ち上がりも遅くなります。

ACE-25 (Ver3.1c) の設定

1. [SYS INIT] [HARDWARE CONFIG] [SONY PROTOCOL] とキーを押して、CVR-75 になるように設定する。
2. [SYS INIT] [SYSTEM OPTION] EDIT OPTIONS 中の ENTRY OFFSET = -3 Frames に設定する。
3. VTR 側の設定
SETUP-MENU 102:FF.REW MAX = ×32
SETUP-MENU 202:ID SEL = OTHER
SETUP-MENU 300:VAR RANGE = -4 ~ +4

<補足>

ACE-25 の JOG の操作性はあまり良くない。
コマンドの速度データの变化が大きいため。

PVE-500 の設定

1. PVE-500 側 SETUP-11 : ED DELAY (編集 Delay) = 6F (6 フレーム) に設定する。
SETUP(ENTRY + EDIT)ボタンを押す。
PLAYER サーチダイヤルを回し, “ SETUP-11 ” を表示させる。
RECORDER サーチダイヤルを回し, “ 6F ” に設定する。
STORE(ENTRY + REC)ボタンを押す。
もう一度, SETUP(ENTRY + EDIT)ボタンを押しセットアップモードを終了する。
2. RECORDER 側 AJ-D750 の SETUP-MENU 106:PLAY DELAY = 4 に設定する。⁹
PLAYER 側 AJ-D750 の SETUP-MENU 106:PLAY DELAY = 0 に設定する。

RM-450 の設定

1. RM-450 側 SYSTEM RESET スイッチを以下の設定にする。

左側

番号	7	6	5	4	3	2	1	0
SW 設定	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

右側

番号	7	6	5	4	3	2	1	0
SW 設定	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF

2. RECORDER 側 AJ-D750 の SETUP-MENU 106:PLAY DELAY = 4 に設定する。¹⁰
PLAYER 側 AJ-D750 の SETUP-MENU 106:PLAY DELAY = 0 に設定する。
3. EDIT モードを選択後, PLAYER と RECORDER 両方に記録済みテープを入れ LEARN ボタンを押す。

⁹ 通常の PLAY の立ち上がりも遅くなります。

¹⁰ 通常の PLAY の立ち上がりも遅くなります。